

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
北海道	特定非営利活動法人北海道ツーリズム協会	鹿追町鹿追地区	1	田舎暮らしのホームページ作成 パンフレット作成 田舎暮らし体験ツアー受入体制整備	ホームページ開設により、鹿追地区への中長期(1週間～3週間)の滞在者は、15組以上。また同サイトから、牧場等の求人情報発信により、現在までに10人程度の募集をしたが、100%が決定するなど効果が大きい。この他にもJTB等旅行業者との連携による滞在プランの商品化が決定。	田舎暮らしのスメ http://www.htu.ne.jp/s/hikaoi/	
北海道	「住んでみたい北海道」推進会議	北海道	1	北海道定住促進のためのワークショップ(3回) 定住相談コーナー等でアンケート調査(4回) 北海道定住促進イベント(1回) お試し定住体験用PRチラシ作成 ホームページ作成 道内関係市町村や団体との検討会(3回)	都内で移住相談会を開催した結果、約840件の問い合わせがあり、124件(1件当たり平均21.3万円)のお試し生活体験を受け入れた。	くらすべ北海道 http://www.kurasube.com/krsb_top.php	
北海道	特定非営利活動法人ねおす	黒松内町	2	地域ワークショップ(5回) 地域内情報を発信するホームページ作成 地域内来訪者へのアンケート調査 インターナシップ生と地域との長期交流 地域活性化に向けた協議会の設立	地域内施設、店舗、農家への取材により、農村がもつ地域資源などへの地域住民への意識啓発につながった。 農作業体験などの中期滞在では作業以外の過ごし方など課題が確認された。 市町村が作るホームページでは表面的な情報発信が多くなりがちだが、民間が作成することで、取材の感想や主観を交えた情報発信が可能となり、読者の興味やニーズに合わせた情報発信が出来た。	つながるーら黒松内 http://www.d2.dion.ne.jp/~buna_ns/tsunagaru/	
北海道	お宝創フードセンター協議会	網走支庁管内	2	地域連携を図るためパンフレット作成 医食環境の連携を図るシンポジウム(1回) 地域共同活動の研修会(2回) 地域連携を図る推進会議(6回) 地域連携するシステムの構築を検討 小麦と大豆を使った試作品の検討	ホームページ上に地域俯瞰マップ等を作成したことで、自分たちの地域での活動を自覚して事業実施出来る状況が整った。生産から流通・販売までの連携により事業展開の可能性が広がった。この中でサンリオとのコラボレーションの話も展開。		お宝創への誘い http://www.okhotsk.or.jp/oha/
北海道	財団法人下川町ふるさと開発振興公社	下川町下川地区	2	ブランド化検討会議(1回) 試作品(手延べ麺)作成 試作品試食アンケート(7回)	農業者から加工業者、商工関係者までの人材ネットワークが強化された。また、地元産小麦を使った試作品はバイヤーからも問い合わせがくるなど評価が高いものが出来た。		(財)下川町ふるさと開発振興公社クラスター推進部 http://www.okhotsk.or.jp/oha/
北海道	赤麦を守る会	美瑛町中本地区	2	地域連携を図る会議(7回) 地元特産品の赤麦を活用した加工品試作 赤麦の普及宣伝用パンフレット、ホームページを作成	赤麦の景観とそのイメージをもつ加工品作成により赤麦の認知度が高まり、赤麦作付け会員が120名から約300名に増加した。	CLUB AKAMUGI http://www.biei.org/akamugi/	
北海道	平取町ふるさと親子留学推進協議会	北海道	1	田舎留学実施校のネットワーク構築のため、道内全小学校、全中学校、全市町村のデータベース作成とアンケート調査 田舎留学実施校への現地視察と協力依頼 田舎留学支援のホームページ作成	北海道内の山村・海浜留学実施33地域とのネットワークが構築された。 実施地区的課題(仕事がない、里親がない、地域内の連携がとれていないなど)が明らかとなり、来年度以降の方針が定まった。	太陽の子供たち http://furenai.com/education/furusatooyako/	

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
北海道	カムイミンタラの伝道師	旭川市、東川町、美瑛町、東神楽町、当麻町、愛別町、鷹栖町、比布町、上川町	1及び2	定住促進ホームページ作成 首都圏の定住イベントに参加し、相談会 定住フォーラム(1回) PR/パンフレット作成	首都圏でのイベントに参加した結果、子育て世代の移住ニーズが予想よりも高いことを確認でき、より若年層をターゲットにしたインターネットラジオなど動画を含んだホームページの整備により、地域の情報発信力が高まった。 民間、行政まで幅広い地元関係者が集まつての異業種交流フォーラム開催により地域での定住への意識啓発が出来た。	北夢移住 http://www.kamuimintara.org/	
北海道	当別町農村都市交流研究会	当別町金沢地区	1及び2	定住促進のワークショップ(1回) 定住事例調査(2地区) 定住促進情報提供のホームページ作成 定住促進のPRパンフレットの作成 里山体験イベント(3回) 新規住民の暮らし相談ワークショップ(3回) 地域連携交流会(1回) 地域連携を図る農業イベント(1回) 地域素材を活用したエコロジー住宅のデザイン試作	田園居住のイメージ定着による移住人口の増加により、地域住民には刺激を与えた。さらに田園居住地の景観づくりのワークショップを開催し、地域の緑づくりの考え方をさぐった。子どもたちの環境学習としての里山体験イベントも3回開催され、好評であった。 地域連携に向けた地球にやさしい農業スタイルの交流・発表会には全道から450人が集まり、当別の知名度が高まった。	里山田園に暮らす http://www6.plala.or.jp/Praha/agri/index.htm	
青森県	特定非営利活動法人白神自然学校一ツ森校	鰺ヶ沢町一ツ森地区	1	定住推進協議会の設立・開催 田舎暮らしホームページの作成 配布ちらしの作成 杉並環境博覧会での定住相談会の実施等 定住ツアーの実施 定住先進地への視察	現地での定住ツアーへ13名が参加した。 定住相談会で鰺ヶ沢町や現地ツアーへの質問が多く寄せられるなどPR出来た。	白神自然学校一ツ森校のホームページへようこそ！ http://school.shirakami.gr.jp/index.html	
宮城県	特定非営利活動法人グリーンライフ東北	仙台市大倉地区	2	農作業体験授業とのパッケージ化パイロット事業 古民家で蕎麦と音楽の連携イベント(7回)	農作業体験と米をセットで販売することにより新たな販売ルートの獲得や付加価値を高める販売の重要性を地元農家が感じることが出来た。新規オープンした施設を活用したイベントで地域の知名度アップと地域内の連携が図れた。		
山形県	特定非営利活動法人四季の学校・谷口	金山町谷口地区	1	四季の学校(農村体験と交流)(4回) 田舎暮らし体験・交流ツアー受入体制整備(料理・工芸等の体験実習会58回)	PRパンフレットや体験プログラムの充実により、受入体制が整備された。		
福島県	いいたて村までい企業組合	飯館村いいたて地区	及び2	ホームページ作成・運営 PRパンフレット作成配布 定住相談(3回) イベントの実施・協力等(8回) 異業種交流会(3回) 森の水車事業交流会(10回) 試作品作成・分析 協議会、懇談会、先進地調査の実施(3回) 特産品開発会議、試作品作成(6回) 工業団地の開発会議等(11回) 企業誘致のためのパンフレット作成(1000部)など	各種PR活動の実施により、定住契約が1件得られた。 また、今後の定住促進や地域活性化につながる体制整備が整つた。	飯館村での田舎暮らし(スローライフ)のサポート http://www.iitate-madei.com/	

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
茨城県	特定非営利活動法人アザザ基金	牛久市霞ヶ浦・北浦流域	2	異業種交流勉強会の開催(2回) 湖が喜ぶ野菜を使用した料理の新メニュー開発 湖をめぐる異業種交流シンポジウム(1回) ホームページ作成 「湖が喜ぶ野菜たち」ブランドのマーケティング調査	各種の取組により、霞ヶ浦を活用した产品や経済の流れについて流域住民に浸透した。 また、マーケティング調査から今後の課題や目標等が確認できた。	霞ヶ浦・北浦アザザプロジェクトHP http://www.kasumigaura.net/asaza/	
茨城県	有限会社 環舍涸沼	茨城町下石崎地区	1	ワークショップ(3回) アンケート調査(2回) ホームページ作成 PR用パンフレットの作成、配布 定住促進イベントへの参加(2回) 田舎暮らし体験・交流ツアー(2回) 定住相談会(2回) 地域活動の企画検討会(1回) 先進地調査(1回) 農作業、伝統芸能等の技術講座(2回)	定住説明会には予定を上回る85名の参加者が集まった。 また、アンケート調査からは、リビーターや体験農業への期待は高かったが、定住の需要は低かった。	農業生産法人 環舍涸沼 http://www.washahinuma.com/cgi-bin/washahinuma_hp/itemaker.cgi?mode=page&page=page2&category=1	
埼玉県	特定非営利活動法人埼玉ツーリズム協議会	入間市入間地域	2	ワークショップ(3回) ホームページ作成 都市部の意見交換のための交流会開催 エコプロダクツ出店 商品開発会議(2回) お茶に付する意識調査 新商品開発の検討(3回)	地元特産品のお茶を利用した新規農産物加工品開発 また、この事業参加により、農業者、農業団体、商工業者の活性化が図られた。	埼玉ツーリズム協議会 http://saitama-tourism.net/	
長野県	中谷郷が元気になる会	小谷村中谷地域	1及び2	地域ブランド検討委員会(4回) アンケート調査 山村留学シンポジウム(1回) 青空市場への出店	住民アンケートの結果により、地元住民の意識が変化した。 (地域をつくるのには都市住民等外部の人との連携が必要等)		
長野県	特定非営利活動法人グリーンウッド自然体験教育センター	泰阜村	1	検討委員会(3回) 山村留学説明会の実施(4回) 先進地調査の実施(3カ所)	山村留学説明会には、当初の予想を上回る参加者190名が集まった。 平成19年度の山村留学児童は15人→20人へと増加した。 本事業への参加により、地域住民の意識が高まった。 山村留学専従スタッフの安定雇用が大きな課題であることが明らかになった。		
北川:31日	NPO魚沼ゆうき	十日町市川西地区	2	シンポジウム(1回) チラシ及びホームページの作成 地域産業マネージャー育成研修(2回)	有機JAS魚沼コシヒカリの生産、保存、販売及び関連業者の連携が図られ、情報受発信が日常的に行われるようになった。 有機事業従事者が3名増加、地域住民にも有機農法等の食の安全の理解が進んだ。 地域産業マネージャー候補8名による情報交換から地域産業の連携が図られてきた。	魚沼ゆうき http://www.yuuki-uonuma.com/index.htm	

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
新潟県	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン俱楽部	上越市桑取・谷浜・中ノ俣・正善寺地区	1及び2	住民説明会 山里学校カリキュラム作成	説明会等により地域の資源や人材が発掘でき、地域の人の意識が向上。 また、地域の情報収集により、カリキュラムに活用できるソフトが蓄積できた。		特定非営利活動法人かみえちご山里ファン俱楽部 http://homepage3.nifty.com/kamiechigo/home2.htm
富山県	特定非営利活動法人グリーンツーリズムとやま	南砺市利賀村	1及び2	ワークショップ(3回) 意向調査及び空き家状況把握 シンポジウム開催	ワークショップの開催により地域活性化の核となるメンバーが集まり、意見交換を行うなどの環境が整った。		NPO法人グリーンツーリズムとやま http://www.gt-toyama.net/index.htm
石川県	特定非営利活動法人コブシ	能登町宮地校下(宮地・鮭尾・太田原・柏木)	1及び2	ホームページ及びパンフレット作成 空き家調査 イベント(1回)	ワークショップ等の開催などにより、地域内の連携や伝統工芸品の復活が出来た。 また、地元小学校の卒業生が集まるきっかけを作ったことから、今後のUターンが期待できる。 地域の中でやれば出来るとの思いが高まった。	春蘭の里 http://www.shunran.info/	
福井県	特定農業団体アグリ・アマイケ	福井市天池地区	2	集落説明会(2回) 先進地視察	集落説明会で100名から多くの意見を聞くことが出来た。先進地への視察から今後の特産品開発に必要な情報を入手出来た。		
愛知県	あいち中央農業協同組合	碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市	2	地元産小麦、大豆を使った加工品開発 イベント開催及び宣伝チラシ作成(25,000枚)	大豆消費拡大に向けた活動展開により、新たに2団体が加入するなど地域の連携が図れた。 地元産小麦、大豆を使った新商品を開発し、試食、試験販売したところ、4品目を商品化できた。		JAあいち中央 http://www.jaac.or.jp/
	特定非営利活動法人はっくるベリージャム	田原市田原地区	2	誘致検討及び体験手法の研修会(2回) 修学旅行関連企業訪問(2回) パンフレットの作成・配布	宿泊施設、農漁家との連携が深まった。また、パンフレットの作成、配布により農業体験への問い合わせが増え、19年には中学生220名の受入も行った。		NPO法人はっくるベリージャム http://www.hucklejam.com/
三重県	農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム	伊賀市伊賀地域	2	教育機関と農業者の交流 アンケート調査 シンポジウム(1回)	食農教育のワークショップや交流会を開催した結果、参加者の食農教育に対する意識や理解が深まるとともに、教育者、農業生産者、消費者のネットワーク化の基盤(23名の協力者)が出来た。		農事組合法人伊賀の里モクモク手づくりファーム http://www.moku-moku.com/
京都部	京都府農業協同組合中央会	京丹後市	1	PR用パンフレットの作成(4,000部) 田舎暮らし体験の体制整備	農村・農業体験交流イベントから都市部の若者の農業・農村への理解促進が進んだ。また、交流イベントで5組の女性と若手農業者のカップルが出来るなど定住につながる効果も上げた。		
	財団法人きょうと京北ふるさと公社	京都市右京区京北地区	1	定住促進検討会議(9回) 都市住民意向調査 空家等ホームページの作成	ホームページの拡充等により、4軒が定住。しかし、空き家調査で多数空き家を確認したが、提供可能な空き家が少ないなど今後の課題も明らかになった。	財団法人きょうと京北ふるさと公社 http://fuw.jp/	

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
	京の田舎暮らし・ふるさとセンター	京都府	1	検討委員会(4回) 定住促進ホームページの作成	定住者への取材情報をホームページに掲載するとともに情報が探しやすい構成に変更。 相談実績としては、面接109件、電話・Eメール99件で、移住希望者には住宅等の情報提供を行った。	あぐり京都ねっと http://www.agr-k.or.jp/~kyoto-j/index.shtml	
兵庫県	いなみ野ため池ミュージアム推進実行委員会	明石市、加古川市、高砂市、稻美町、播磨町	2	イベント(1回) ホームページ作成 マップ、PR関連グッズ作成 コミュニティビジネスの開発	地域の財産である「ため池」を中心として、多様な主体が連携するための体制整備が整った。また、イベントには約4万人が参加し、都市部の住民には地域の活動や農産物のPRが出来た。	いなみ野ため池ミュージアム http://www.inamino-tameike-museum.com/	
	原始人会	加西市満願寺地区	1及び2	定住促進イベント(2回) PR用パンフレット作成 ホームページ作成	事業実施により地域住民に地域活性化の必要性への理解度が深まり、地区活性化推進協議会を設立。 イベントには1,179人が集まり、定住化等に関するアンケート321件を回収、リピーターの確保につながった。	原始人会 http://www.genshijinkai.com/	
鳥取県	御来屋	大山町御来屋地区	2	魚介類のブランド化を目指した推進会議(18回) マーケティング調査 試作品の作成、分析、販売、普及宣伝活動	単なる生産者から農水産物の加工や販売等の実施により、商品価値、顧客満足度の認識ができた。この取組が周辺地域への良い刺激となった。		
	NPO大山中海観光推進機構	大山町・伯耆町	2	酪農体験の商品化 乳製品・肉製品の好感度向上のための研修会 マーケティング調査 試作品の作成・販売・普及宣伝活動	イベントの開催や参加等による普及宣伝活動により、知名度が向上し、消費の拡大につながった。		大山中海観光フォーラム http://my.sanin.jp/dnkankou/
島根県	海士町ふくぎ茶茶業組合	海士町	2	地域の伝統的お茶の商品化 推進会議(3回) 試作品の作成・検討	製茶技術をもつ企業との連携により、試作品を作成。今後は商品化を目指せる体制が整った。		
	まちづくりビジネス支援ネットワーク	島根県	2	アンケート調査 事業検討会(1回) シンポジウム(1回)	参加者からは、農産物、農産加工品を含めた農村資源の高度活用プログラム開発の可能性の理解が得られた。		
岡山県	(株)愛の村	美作市東粟倉地区	2	ヤマメを使ったオリジナル商品の開発 先進地視察 マーケティング調査	ヤマメの味噌漬け試作等により地域内生産者の所得向上		愛の村パーク http://www.ainomura.com/
	真庭遺産研究会	真庭市、新庄村(上河内、下徳山、新庄宿)	2	地域資源を活用した事業開発調査 異業種交流会、事業化検討会、コミュニティビジネス検討会、異業種交流型研究会(各3回) パンフレット、ホームページ及び田舎暮らし自然活用ガイド養成テキスト作成	都市農村交流促進の機運が高まるとともに、地域の事業者が連携することで、地場産業を中心に地域経済の活性化につながり始めた。 また、地域リーダーとなる人材を20名程度養成できた。	真庭遺産研究会 http://www.net626.co.jp/kusa/kusa263.htm	
	晴れの国野生生物研究会	美作市福山地区	2	異業種交流会、ワークショップ研修会(各2回) シンポジウム(1回) 都市農村交流テキスト作成	昔懐かしい農村風景と生態系を結びつけた新たな農村旅行、都市農村交流、田舎暮らしのビジネスの可能性が見えた。		

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
山口県	NPO法人 CDMJAPAN	真庭市、美作市、久米南町	1及び2	地域住民、都市住民への定住意向調査 耕作放棄地・空き家情報のデータベース化 異業種交流会 事業化検討会、地域住民説明会等開催	地域間での意識格差が大きく、積極的な地域に対しては具体的な事業提案を実施するなど体制整備に向けて前進。 事業化検討会の中で、地域住民が自らの資金で用地(約80ha)を取得するなど、人と企業を誘致する体制整備が進んだ。	NPO CDMJAPAN http://cdmj.or.jp/	
	湯野土地改良区	高梁市湯野地区	1	ワークショップ(1回) 先進地調査、住民の意向調査 団塊世代の地域出身者と農地状況把握	地域の活性化は地域の住民自らが考えないといけないと認識が芽生えてきた。		
広島県	広島県農業協同組合中央会	広島県	1	定住促進のための活性化方策検討の調査分析 定住促進のワークショップ(2回) 都市との交流の新しい農園モデル事業の企画・検討委員会(4回)	定住の意向が予想以上に高いなど利用者の思いを把握できるなど、地元、行政など関係者のニーズや役割が明らかとなつた。	JAグループひろしま http://www.ja-hiroshima.jp/	
	川西自治連合会	三次市川西地区	1	ワークショップ(2回) 地域住民の意向調査 地域活性化会議(12回) 特産品創造研修会(3回)	地域住民への意識調査から、定住促進等の意向を把握、地域において定住促進への機運が高まった。 空き家調査から40軒の情報が得られたが、空き家バンク登録は2軒にとどまった。 特産品や地域ブランドについて連携して取り組む組織の設立を目指すなど活性化が図られた。		
	NPO法人e・食・住・Org設立準備委員会	庄原市高野町備北地区	2	インターネットサポート組合員向けワークショップ(11回) インターネットサイト管理者向けワークショップ(4回) 携帯電話を利用した産直ショッピングモール作成	独立採算方式の朝市便のネットによるショッピングモール開設し、試験的に運用開始。 ワークショップにより、インターネットの活用方法等の基礎式が得られた。	hibagun.net http://hibagun.net/	
徳島県	NPO法人学生耕作隊	山口県山口市、萩市、美祢市、周防大島町、島根県大田市、東出雲町	1及び2	田舎体験希望者等の育成のためにITを活用した予約システム等の導入 ホームページ、パンフレットの作成 受入認定農家育成研修(5回) インストラクター養成研修	農業インストラクターを10人、受講生は50人という目標を達成。 地域の農業分野の新たな担い手を育成するシステムや受入体制が整備できた。	NPO法人学生耕作隊 http://www.socio.gr.jp/ennou/	農業体験、田舎体験Eラーニング http://waa-bc.com/e-earn/ 田舎体験紹介予約サイト http://waa-bc.com/tachiagaru/ http://waa-bc.com/yasai_top 農家取材、紹介サイト http://www.waa-bc.com/agri/
	坂本グリーン・ツーリズム運営委員会	勝浦町勝浦地区	1及び2	農村への定住促進を図るため先進地調査 多様な主体による地域連携体制を構築するための検討会議(3回) ホームページ作成	NPO等各地域づくり団体との連携が進み、各団体が抱えている悩みを解決する方策を見つかるなど効果が上がった。	ふれあいの里さかもと http://fureai-sakamoto.hpt.infoseek.co.jp/	

平成18年度農村コミュニティ再生・活性化支援事業結果概要

都県名	事業主体	事業実施地区	区分※	主要事業内容	得られた効果	作成ホームページ	事業主体ホームページ
愛媛県	愛南町ビジネスモデル研究協議会	愛南町	2	試作品の開発、研究 マーケティング調査、先進地調査	地域特産物を使用した特産加工品の構築が図れた。また、販路拡大も進み、農村女性の起業活動への意識が高まった。		
高知県	NPO法人高知県ふるさと回帰支援センター	高知県	1及び2	農村への定住促進を諂るため情報収集 ホームページ、パンフレット作成 試作品の作成・試験販売	大手量販店とJAの連携により販路が拡大出来た。これにより農業者への参入が図られる体制が整ってきた。	高知県ふるさと回帰支援センター http://www.kochi-furusatokaiki.jp/	http://www.40010.or.jp/
大分県	さいたえんグリーンツーリズム研究会	九重町安川・吉部地区	1	研修会及び意見交換会(2回) 企画検討委員会(3回) PR用パンフレット作成(20,000部) 先進地事例調査	事例調査により、移住者を受け入れる地域側と入ってくる都市住民との意識の差を確認できた。 パンフレット等の作成により、交流・定住の促進が図られる準備が整った。		
沖縄県	NPO法人がらまん	宜野座村 宜野座地区	1	ホームページ作成 空き家調査 農作業体験交流イベント(1回)	作成されたホームページに、平成19年7月31日時点で3,357回のアクセスがあり、広く宜野座村の情報が発信されていることが確認できた。 空き家調査で39軒の空き家を確認したが、空き家提供に慎重な意見が多いなど、受入体制の課題が明らかになった。 農作業体験・交流イベントに、60名の参加があり、うち45名が村外からの参加者であったことから、都市住民及び村内外の子供をはじめとする多くの人が地域の理解につながり、地域活性化への意識啓発が図られた。	特定非営利活動法人がらまん http://www.ginoza-garaman.net/	
合計				49地区			

※区分は、1が都市から農村への定住等の促進の取組、2が地域産業との連携の推進の取組